



## 晴天に恵まれ。登山シーズン到来

### 宝仏山登山道開き



登山客と宝仏山の安全を祈願

登山シーズンの到来を告げる、宝仏山（標高1005m）の登山道開き（ごうぎんすぎの子会主催）が、4月30日、登山道入り口の町歴史民俗資料館前で開かれました。

同会では、4月22日に登山道整備を行い、積雪などで倒れた木を取り除いたり、生い茂った草を刈るなど、登山客を迎える準備をしてきました。

当日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため関係者以外の参加はありませんでしたが、神事が行われ、これから訪れる登山客らの安全を祈りました。

## 県内第1号の認定を受ける

### 特定地域づくり事業協同組合認定証交付式



認定証を手にする佐々木理事長（中央）と平井知事（右）、埴田町長（左）

4月16日、「日野町未来づくり事業協同組合」の特定地域づくり事業協同組合認定証交付式が、日野振興センターで行われました。

農林業の担い手不足を解消するために設立された同組合。組合では4月1日に従業員を1人雇用し、将来的には4人程度を採用する予定です。

当日は、平井伸治知事が佐々木秀明理事長に認定証を手渡し。佐々木理事長は、「組合が出来たことで、若い人や移住者が増えれば、事業体も発展すれば地域貢献につながる」と、意気込みを語りました。

## 住宅用地の特例、家屋・土地の異動に関する届け出について



住宅が建っている土地は、建物が無い土地や、店舗・事務所などの建っている土地に比べ税金が安くなっています。

5月31日（月）は、固定資産税第1期分の納期限です。早めに納付しましょう。

### 【住宅用地の特例】

区分		土地の使い方と面積		固定資産税
住宅用地	小規模住宅用地	住宅やアパートの敷地	200㎡以下	価格×1/6×税率
	一般住宅用地		200㎡超え	価格×1/3×税率
非住宅用地		空き地や店舗、事務所などの敷地		価格×税率

住宅を壊した場合、その住宅分の税金はなくなりますが、土地の税金はもとに戻る（上がる）こととなりますので、固定資産税が上がることもあります。なお、住宅用地の特例には申告が必要となります。



家屋（車庫や物置なども含む）を取り壊したり、新築・増築をした場合、町への届け出が必要です。

また、土地の利用状況などに変更（例：畑の一部を駐車場に利用など）がある場合も同様に届け出が必要です。該当する場合は必ず下記担当へご連絡ください。届け出がないと、誤った固定資産税が賦課される場合がありますので、必ず届け出をしてください。



不明な点やわからない点があれば、下記まで問い合わせをお願いします。

【問合せ先】役場住民課 固定資産税担当（電話 72-0333）

読書は人生を豊かにする一。

# 本を読む

～ spring ～



『よくわかる山菜大図鑑』  
今井 国勝、今井 万岐子 著 / 永岡書店

外歩きによい季節になりました。春を告げるふきのとうに始まり、いろいろな山菜が顔を出しています。春の山菜には苦みがあるものがよくありますが、虫から身を守るためだとか。この本には山菜の名前、食べごろ、おすすめの料理など、たくさんの写真入りで紹介されています。

春は新しい一歩を踏み出す季節。この春、町図書館があなたに届けたいおすすめの一冊を紹介します。問合せ / 町図書館 (電話 72-1300)

春は新しい一歩を踏み出す季節。この春、町図書館があなたに届けたいおすすめの一冊を紹介します。

問合せ / 町図書館 (電話 72-1300)



『心の歌よ！日本人の「故郷」を求めて』

伊藤千尋 著 / 新日本出版社

どこの国や地域でも、そこに住む人々に特有の歌があります。しかし、日本ほど歌の種類が豊富な国は珍しく、日本人を引きつける「赤とんぼ」、夜空の星に早世した兄を想う「涙そうそう」、凜として生きる

美の象徴「桜」など、それらの歌の背景を知ると、歌に込められたものの奥の深さに気づくことができます。この1冊を読んで、もう一度「心の歌」を味わい直してみてください。



『庭・畑・空地、場所に応じて楽しく雑草管理 草取りにワザあり!』

西尾剛 著 / 誠文堂新光社

ぽかぽか陽気で、外の散歩も楽しくなる春。ふと目につく雑草…。雑草の中には、愛らしい小さな花で目を楽しませてくれるものもあれば、ちょっと遠慮したいものもあります

よね。そんな時、雑草とどのように付き合っていけばよいかを教えてくれるのがこの本です。この本にはたくさんの雑草が紹介してあります。草取りを「面倒」から「楽しい」に変えてみませんか？



『種まきびとの台所』

早川ユミ 著 / アノニマ・スタジオ

布作家・早川ユミさんが送る季節ごとの食卓。春は「野生の芽吹きをたべる」をテーマにしています。

つくし、よもぎ、山ぶきなど、一年に一度、その季節だけの出会いに感謝を込めて、しみじみと味わいたいものです。



『ありがとう』

谷川俊太郎 詩 / えがしらみちこ 絵 / 講談社

3月は別れの季節。4月は出会いの季節と、卒業式は人生の節目となる大切な行事です。普段言えなかった感謝の気持ちを全ての人に伝えたい。新しい人生を歩みだすあなたに贈りたい一冊です。